



鴻小だより

上越市立大鴻町小学校 E-mail ohgata-e@jorne.or.jp 令和5年10月17日

1学期 学校評価アンケートの結果から

おいそがしい中、学校評価アンケートへのご入力、大変にありがとうございました。お伝えすることが遅くなりましたが、結果を受けての改善策等をお知らせします。

当校の課題は「言葉遣い」&「メディア接触」

お開きいただき、2・3Pの下段をご覧ください。2P目は児童アンケート、3P目は保護者アンケート結果です。両者とも、「そう思う」率が最も低い1位・2位の項目は同一で、③②の「相手を思いやる言葉遣い」と⑨「メディアとのかかわり方」でした。つまり、この2項目が当校の課題です。

①「相手を思いやる言葉遣い」については、自由記述にも以下の指摘がありました。

・小学生になってから、言葉遣いが悪くて困っている。乱暴な言葉遣いや暴力を振るう子がいて、かなり影響を受けている。

実際、相手を傷つける言葉や、絶対に言ってはいけない言葉（メディア上で伏せ字になる言葉）を発する子どもがいます。また、Jリーガーも退場になったジェスチャーをとったり、手が出てしまったりという実態もあります。ご家庭ではいかがでしょうか？ そのような言動を受けた人は大変に傷つきます。



学校では、周りにいた子どもが注意をしたり、そのことを学校職員に伝えてくれたりしています。そういう場合は、事実を確認し、因果関係を明らかにし、互いが納得のいく話し合いをし、解決策を考え、今後、同じことが起こらないように指導しています。また、夏休み中の会議で、相手を傷つける言動が出たときには、全職員で“すぐに指導”することを共通確認して取り組んでいます。

“幸せな学校”には、乱暴な言葉や相手を傷つける言葉・ジェスチャー、暴力は似合いません。学校と家庭で、「相手を傷つける暴言や暴力は絶対に言って・してはいけない！」と、しっかりと行って聞かせて、正していきましょう。

②「メディアとのかかわり方」については、現在の家庭・学校生活だけではなく、将来にも大きな影響を与えます。例えば、以下のことが指摘されています。

- 視力低下 姿勢悪化 運動不足・体力低下 肥満 ホルモンバランスの低下
- 忍耐力の低下 睡眠障害 前葉頭の退化(思考力・判断力・集中力の低下)
- 学力低下(ゲーム以外のことへの集中力・関心低下) 出会いからの誘拐等
- より刺激の強いモノ・コトへの執着 ネット内だけの人間関係でのトラブル
- 栄養失調(夢中になりすぎて食事が十分に行われない) 課金での高額請求
- ゲームがないことによるイライラ(他者への暴力や暴言等の攻撃) 暴言・暴力
- 依存症(薬物やアルコール依存症と同様に抜け出すのは地獄の苦しみ)

↑これが一番怖いと専門家はおっしゃいます。

これらは、その瞬間は体に及ぼす影響を自覚することはほぼありません。しかし、ボディーブローのように、じわじわと自分の体や心、脳をむしばんでいきます。支障が出ることで辛い思いをするのは子どもです。

1学期の視力検査の結果、A以外（1.2未満）の子どもの割合は約44%（昨年度比+9%）でした。当校の視力低下は顕著です。

また、最近はテレビ視聴やゲームソフトで遊ぶことより、SNSやオンラインゲーム、動画視聴に費やす時間が増えています。これらは、危険も多く潜んでいます。

学校では、メディアとの正しい付き合い方やメディアの怖さを継続して指導していきます。

ご家庭でも、今一度、メディアのかかわり方について話し合い、親子で「我が家のルール」を決め、見直し、掲示するなどして取り組んでいただきたいと思います。

学校と家庭が協力して、子どものためにできることを実践し、子どもの健やかな成長を支えていきましょう。



【児童アンケート】

①学校に来るのが、楽しい。



②クラスやJチームの活動では、仲良く助け合っている。



③相手のことを思いやる、やさしい言葉をつかっている。



④授業中、先生や友だちの話を、しっかり聞いている。



⑤授業中、自分の考えをノートやワークシートに書いたり、友だちに伝えたりしている。



⑥家で学年×10分以上、家で学習（宿題、自主学习、読書など）をしている。



⑦体を動かすこと（運動や外遊び）や体育の授業がすきだ。



⑧早ね・早おき・朝ごはんを守って、元気にすごしている。



⑨家族で決めた、メディア（ゲームや動画）などのやくそくを守っている。



0 20 40 60 80 100

■ そう思う ■ だいたいそう思う ■ あまりそう思わない ■ そう思わない

なお、メディアの約束に関しては、大湊区の保小中でも「元気アップ大湊」として取り組んでいます。第1回（5月）の取組の達成率は66%で、全体の約2/3でした（令和4年度の全3回の取組の平均達成率は68%なので微減）。

15日（日）に終了した第2回「元気アップ大湊」では、取組前に担任が5月の結果を基に指導してから始めました。また、取組期間中には、毎日お昼の放送で保健委員会が取組を促す放送をして意識を高めました。その結果、カードには以下のような肯定的なコメントが多くありました。

○「『元気アップ大湊』に向けて、親子で目標を立てました。達成に向けて家族全員で取り組んだところ、家族での会話の時間が増えました」

○「この取組のおかげで本を読む時間が増えました」
メディアとかかわる時間が調整できれば、親子の会話や読書、家庭学習に充てられる時間が増えます。学校では、1学期に「家庭学習の手引き」を配付し、よい時間の使い方等も指導しています。ご家庭でも、メディアを含めた時間の有効な使い方について、是非話し合ってみてください。



【保護者アンケート】

①子どもは、学校に行くことを楽しみにしている。



②子どもは、相手を思いやるやさしい言葉遣いをしている。



③子どもは、ルールやマナーを守っている。



④家庭では、学習内容について話題にしたり、聞いたりしている。



⑤子どもが学習する環境を整えている。（声かけ、励まし、メディアの約束づくりなど）



⑥子どもは、学年×10分以上、家で学習（宿題、自主学習、読書など）をしている。



⑦子どもは進んで運動したり、体を動かして遊んだりしている。



⑧子どもは、「早寝・早起き・朝ご飯」ができています。



⑨子どもは、家族で決めた、メディア（ゲームや動画）などの約束を守っている。



0.0 10.0 20.0 30.0 40.0 50.0 60.0 70.0 80.0 90.0 100.0

■ そう思う ■ だいたいそう思う ≪ あまりそう思わない ∴ そう思わない

【保護者アンケート 自由記述から】 ※紙面の都合上、文章は簡略化しています。

・メールで配信されたが、学校のイベントや路線バス変更等の知らせが遅すぎる。また学校からの知らせも分かりづらく、情報が乏しいことが多々ある。詳細を記載してほしい。

→ お知らせが直前になったり、詳細が分かりづらかったりして申し訳ありませんでした。スタンドアート（ペンキ塗り）は、業者さんの都合や天候（天気や気温）の関係で実施のお知らせが間際になりました。路線バスの変更は、子どもたちの安全確保のため、早めに知らせてもらえるようにバス会社に依頼をしましたが、前日まで連絡をいただけませんでした。早めの、分かりやすい配信に努めていきます。



・自分のやりたいことを集中して取り組める時間があつた保育園と、時間で区切られていく小学校とのギャップが見られた。最初が肝心なのは承知しているが、もう少し保育園とのグラデーションがあると馴染みやすかったのではと思う。

→ 1年生には、4月は正規の時間割ではなく、小学校生活に徐々に慣れることができるように、「遊び」「自立」の時間を設定するなど、緩やかにスタートできるようにしています。ただ、小学校は学習指導要領に基づき、学習を進めていかななくてはなりません。子どもの実態と学習進度のバランスを見ながら進めていきます。

・150周年という記念の運動会ではあつたが、6年の走る距離が短く、トップスピードになる前に終わってしまうのは、本人も見る側も物足りないと思った。

→ 学校の指導の基準となる学習指導要領の体育には、高学年の短距離走は40～60mと書かれています（ちなみに、低学年は30m～50m、中学年は30m～50m）。文部科学省は、小学生の様々な体力データからこの距離が短距離走として妥当という判断をしたのでしょう。記念の運動会ではありましたが、学校では、学習指導要領に則り教育活動を進めました。



ちなみに、持久走についても、学習指導要領には右のように書かれています。

今後も文部科学省が定めた

学習指導要領に沿って様々な教育活動を行ってまいります。どうぞご理解ください。

学年部	例 示
低学年	無理のない速さでかけ足を2～3分程度続けること
中学年	無理のない速さでかけ足を3～4分程度続けること
高学年	無理のない速さで5～6分程度の持久走をすること

・放課後児童クラブを嫌がっている。学校以外の場での支援の在り方に不安をもっている。

→ 放課後児童クラブに行くことを嫌がる理由が子どもにはあるはずですが、聞き取って、放課後児童クラブ（教育委員会の学童保育係（TEL:545-9244））にご相談ください。また、学校以外の支援については、教育委員会や市役所等にご相談ください。

・くじけたり、いじけたりしてしまい、なかなか自分の気持ちが伝えられないようである。ゆっくり個人の話を書く機会は学校の中では取れないかもしれないが、家に帰ってきてから話しても根本が解決しないので、中途半端なままになってしまうことが増えている。ゆっくり話を聞き、どうすれば良いのか、本人はどうしたいのかを考えられたらと思っている。

→ 学校では落ち着くまで待ち、それから話を聞くようにしています（興奮していると話ができないため）。ただ、ご指摘と同様に、自分の気持ちを相手にうまく伝えられないことがあります。また、時間が経つと忘れてしまったり、興奮すると自分のしたことの記憶がなくなったりする子どももいます。さらに、下校までの限られた時間の中で全てを聞き取ることが難しい



こともあります。ですから、「帰宅後に話を聞いてください」と保護者の方をお願いすることもあります。保護者の方が話を聞いた場合は、翌日に是非担任に伝えてください。なお、担任に話せない場合は、他の職員やカウンセラー等に話していただけたらと思います。

・通知表の評価に△があった。どこが苦手なのか分からず、先生にも聞けなかったようだ。どこをどのように努力すればよいのか、通知表だけでは分かりかねるため、教えてほしい。日頃の復習でのフォローや確認の参考にしたい。

・算数で分からないところがあったようで、テストができなかったと本人が言っていた。先生と確認をしたい。

→ 個別懇談や通知表を渡す際の説明が足りず、申し訳ありませんでした。評価や学習については、担任に気軽にお問い合わせください。

・4月の授業参観時、授業中とは思われない雰囲気を目の当たりにし衝撃的だった。これから更に学習も難しくなっていく中、クラス全体で授業に集中出来る雰囲気にしていただきたい。

また、友達に遊びに誘われたのに公園に行ってもいないことが続いた。遊ぶ仲間に入れてもらいたくて声を掛けても「無理」と言われ、帰宅後泣いていることもあった。とても心配になる。

→ 9月の授業参観時はいかがでしたか？4月当初は落ち着かない様子が見られることがあります。しっかりと子どもたちを見て学級経営やきめ細やかな指導をしていきます。

友人関係は、難しい問題です。大人になっても悩むことがあります。お家の方に話せる関係があるので、親子で一緒に考えてみてください。

学校でも道徳の時間等で約束を守ることの大切さや、相手を傷つけない言い方や断り方等について考えていきます。

・PTA活動の集合時刻をもう少し早めてもよい。子どもの就寝時刻等を考えると、時間が遅くなることは、学年が下がるほど子どもへの影響もあるのではないかと思う。

→ PTA会長さん等に相談し、①遅くとも午後6時半開始、②1時間以内(午後7時半)で終了する会の運営を心掛けるということで確認しました。①については、仕事の都合でそれよりも早い時刻の開始は難しい方が多いようです。②については、時期や内容によっては、1時間では終わらない場合もあるので、「原則」ということでご理解ください。皆



さんで、会のスムーズな進行に心がけたり、事前に話し合う内容をアナウンスしたりして工夫していきましょう。

終了時刻が早まることは、PTA役員の皆様の働き方改革にもつながります。今後、PTAの会を開催する際は、この原則を守っていただければありがたいです。

・一部の児童の茶髪は学校的に OK なのか。親の責任・管理下であれば毛染めは容認されるのか、染毛に対して学校の規則や何か取り決めなどはあるのか教えてほしい。

→ 校則として明記していませんが、毛染めは禁止です。大湊町中学校も毛染めは禁止です。家庭での毛染めはやめてください。

・児童玄関側の校門の所に「業務者以外 進入禁止」と書かれている。しかし、子どもがいても平気で車で乗り入れる保護者がいる。子どもの安全確保のために、乗り入れはやめてほしい。

→ ご指摘のとおりです。安全確保にご協力ください。また、子どもが見ています。私たち大人が率先して表示や指示に従って行動し、「ルールを守る」という範を示していきましょう。

・長期休業中、iPad を持ち帰らせているが、充電器も持たせてほしい。

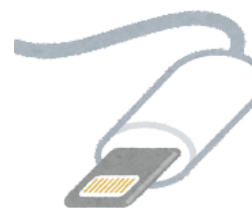
→ 充電器については、以下のような現状等があるため、昨年度から充電器の持ち帰りはしないことにしました。ご理解とご協力をお願いします。

・充電器を取り外すためには、固定式のキャビネット（タイマーつき充電式タブレット保存庫）の各種ねじを外さないといけない。これには時間がかかる。取り付けも同様である。バスや電車の乗車時刻や、登校後の活動を考えると、脱着にかかわる子どもの負担は大きい。

・本来、充電器はキャビネット備え付けである。充電器の持ち運ぶ際は、コードを曲げて（丸めて）ランドセルに入れるため、中で線が切れることが予想される。※学校での充電を基本としています。

・万が一、破損した場合、まずは家庭での使用状況を教えていただくことになる。そして、教育委員会に報告書を提出する。家庭・学校ともに煩瑣である。さらに書類を提出してから代替品の到着に日数を要する。このため、数日間、充電ができないために、学習が滞る可能性がある。

・家庭での紛失や通常の使用以外での破損の場合は、純正品（ケーブル 2,780 円、ソケット 2,780 円、計 5,560 円）が全額、保護者負担となる。



・修学旅行の出発式を前日に、到着式を翌日にしてほしい。働き方改革にもなると思う。

→ 出発式や到着式の教育的意義もありますが、早朝や夜になる場合は、子どもや保護者の負担にならないように考えていきたいと思えます。

以上、改善策等をお示ししました。いかがでしょうか？また、掲載した以外にも貴重なご意見をいただきました。皆様のご意見を基に改善を図り、より“幸せな学校”になるように努めてまいります。学校評価アンケートは2学期末にも実施しますので、ご協力をよろしくをお願いします。